

|                                        |                                                   |
|----------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 第 24 回日野市ユニバーサルデザインまちづくり<br>推進協議会 議事録  | 平成 31 年 03 月 25 日（月）<br>15:00-16:45 日野市役所 505 会議室 |
| ■出席者                                   |                                                   |
| 1. 日野市ユニバーサルデザインまちづくり推進協議会             |                                                   |
| 会長                                     | 小根山 裕之 首都大学東京 都市環境学部 都市基盤環境コース 教授                 |
| 副会長                                    | 橘 弘志 実践女子大学 生活科学部 生活環境学科 教授                       |
| 委員                                     | 有山 一博 日野市聴覚障害者協会                                  |
|                                        | 曾我 眞二 日野市老人クラブ連合会                                 |
|                                        | 田辺 邦夫(欠席) 日野市視覚障害者協会                              |
|                                        | 津島 恭子(欠席) 日野市知的障害者相談員                             |
|                                        | 早川 裕子 市民サポートセンター日野                                |
|                                        | 藤井 恵 公募市民                                         |
|                                        | 藤田 博文 自立生活センター日野                                  |
|                                        | 井上 敏夫 日野市商工会顧問                                    |
|                                        | 松本 茂夫(欠席) 日野市社会福祉協議会                              |
|                                        | 板倉 和彦(欠席) 独立行政法人 都市再生機構                           |
| 2. 日野市                                 |                                                   |
| まちづくり部長                                | 宮田 守                                              |
| 企画部長                                   | 大島 康二(欠席)                                         |
| 健康福祉部長                                 | 赤久保 洋司                                            |
| 3. 事務局                                 |                                                   |
| 日野市まちづくり部都市計画課                         |                                                   |
| 岡田正和課長・壁巢哉弥課長補佐・伴登順香主任・高橋桃子主任・川上恭平主事   |                                                   |
| ■次第                                    |                                                   |
| 1. 開会                                  |                                                   |
| 2. 審議事項                                |                                                   |
| (1) 平成 30 年度日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 審査    |                                                   |
| 3. 報告事項                                |                                                   |
| (1) バリアフリーのまちづくり現地点検について(報告)           |                                                   |
| (2) 「やさしいちず」「パーソナルナビゲーションシステム」について(報告) |                                                   |
| (3) 平成 30 年度第二次バリアフリー進行管理会議について(報告)    |                                                   |
| (4) 平成 30 年度「心のバリアフリー」職員研修について(報告)     |                                                   |
| (5) 市役所本庁舎のトイレ改修について(報告)               |                                                   |
| 4. 今後の予定                               |                                                   |
| 5. 意見交換                                |                                                   |
| 6. 閉会                                  |                                                   |

### 【配布資料】

|        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 資料 1－1 | 平成 30 年度日野市 UD 推進功労者表彰募集 応募結果と審査について |
| 資料 1－2 | 日野市 UD 推進功労者表彰 審査基準                  |
| 資料 1－3 | 日野市 UD 推進功労者表彰 評価票記入要領と評価項目について      |
| 資料 1－4 | 平成 30 年度日野市 UD 推進功労者表彰 審査資料（受付番号 1）  |
| 資料 1－5 | 平成 30 年度日野市 UD 推進功労者表彰 評価票           |
| 資料 2   | バリアフリーのまちづくり現地点検報告書                  |
| 資料 3   | 「やさしいちず」「パーソナルナビゲーションシステム」について（報告）   |
| 資料 4   | 平成 30 年度第二次バリアフリー進行管理会議について（報告）      |
| 資料 5   | 平成 30 年度「心のバリアフリー」職員研修について（報告）       |
| 資料 6   | 市役所本庁舎のトイレ改修について（報告）                 |
| 資料 7   | 今後の予定                                |
| 資料 8   | 協議会委員 名簿                             |

### ■審議・意見交換

#### 1. 開会

#### 2. 審議事項

##### （1）平成 30 年度日野市ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 審査

事務局： 資料 1－1～1－4 について説明、事前送付資料に対する委員からの質問事項への回答

その他、審査内容に対する質問があれば受け付ける。

委員： 浅草寺に昨日行った。そこでは車椅子専用ルートが確保され、分かりやすく表示されていた。金剛寺には、車椅子専用ルートがあるのか。

事務局： 専用ルートはありません。奥殿には分かりやすく車椅子のサインはあるが、現地に行った際、車椅子のルートマップが置いてある様子はなかった。車椅子で自由に回遊していただくようになっている。

委員 奥殿は階段が急だったと思うがそこにスロープが設置されているということか。また、入口から中は車椅子でも問題なく見学できるのか。  
あと、四季折々の植物もあり一年中お客がいると思う。例えばアジサイを見に山の裾野に車椅子で行くのは苦労があると思うので、できれば望遠鏡のようなものが設置されていると、高齢者や障害者もそれを利用して見れるのではないかと提案する。また、先ほど車椅子ルートの案内図はないとのことだったので、今後、バリアフリー案内図があってもいいのではないかと思います。

事務局： 奥殿の裏側に緩やかなスロープが設置されており、車椅子入口と表示されている。  
また、奥殿の入口にも金属のスロープが置かれ、高齢者にも配慮されている。  
入口から中は、段差があるので、施設の方が介助すると伺っている。  
いただいたご意見は金剛寺さんにもお伝えする。  
また、まち歩きで出たご意見は金剛寺さんにお伝えしており、いろいろなご意見があることを認識し、精進したいということをおっしゃっていた。

委員： 介助が必要な際はお手伝いするとのことだが、それはどういった方々なのか。

事務局： 金剛寺の方が対応してくださるということ。

委員： 事前に送付された審査資料には金剛寺の電話番号や住所などが記載されていたが、本日の資料では黒塗りになっているのは何か理由があるのか。

事務局： 個人情報にあたるので本日の資料には消去した。前回の審査と同様に事前にお送りした応募用紙は後日回収したい。議事録を送付する際に返信用封筒を同封するので、返送していただきたい。

他にご質問がないようなので、評価に移る。1 から 5 点までの評価で、時間は 5 分程度とする。記入が終わり挙手していただければ事務局で回収する。その後、集計する。

それでは、評価をお願いします。

### 3. 報告事項

#### (1) バリアフリーのまちづくり現地点検について

事務局： 資料 2 について説明

会長： 只今の内容について、ご意見ご質問を受け付ける。皆様、どちらかの場所には参加されていると思うので、こういった現地点検を通して、今後気を付けていかなければならないことが見えてきたと思う。

特に意見がないようなので、次の報告事項に参ります。

#### (2) 「やさしいちず」「パーソナルナビゲーションシステム」について（報告）

会長： 報告事項（1）の中の現地点検での意見でも触れているが、それに関連する話題提供として紹介する。S I P という内閣府主導の戦略的イノベーション推進プログラムというものがあり、先進的な技術や課題解決を戦略的に行っていこうというもの。その中の一つに自動運転のプログラ

ムがあり、それに関連して先進的な公共交通機関の整備や移動しやすいまちづくりなどのテーマもあり、その中の一つとして誰でも移動しやすくなるような技術開発が行われているというもの。私自身、有識者メンバーとして携わっている。

（資料３）について説明と動画放映。

ご質問やご意見を受ける。

副会長： この仕組みはどういった形で広く導入されていくのか。

会長： データ収集アプリの「やさしいちず」は、アンドロイド版は公開されているので誰でも使うことができるが、まだ普及していない。この実証実験を豊洲で行ったので、その豊洲のデータはいくつか見えるようになっている。ある程度開発は完了しているが、実用の中でフィードバックがあれば様々な改良がされていくと思う。

ナビゲーションの方は、これも豊洲で実証実験を行っているところで、利用者を募り、実験をしている段階。今は豊洲のデータしかないので、どこでも使えるという訳ではない。これはナビタイムが開発に関わっている。「やさしいちず」の iphone 版はこれからリリースされると聞いている。

「やさしいちず」は使える方はぜひ使ってください、何らかの形でフィードバックしていただければと思う。

### （３）平成 30 年度第二次バリアフリー進行管理会議について（報告）

事務局： （資料４）について説明

委員： バリアフリーの改修に関して、今回紹介されたようなスーパーアルプスさんなどの大企業はしっかりやっていると考えている。一方、私が活動している高幡不動駅周辺だと、例えば参道のお店という、店舗の内部はバリアフリー整備がなされていたりするが、入口とその前の道路との段差が 10cm くらいあったりして、店舗に入れなかったりする。店舗自体の条例の遵守は進んでいると思うが、土地と店舗の擦り付けがなかなか進んでいないことが見受けられるので、そういった部分まで確認していただけると良い。

事務局： 市では現在、ユニバーサルデザイン推進条例を運用しており、小規模店舗にも届出が必要になっている。その届出があれば、道路と建物の段差が 2cm 以上にならないように確認はしている。委員ご意見のように、道

路と入口に 10cm ほどの段差が解消されずに改修されているということは、必要な届出がなされていない可能性もある。

会長： 店舗と歩道の連続性については、現地点検でも指摘されていた事項であると思うので、重要な事項だと思う。他に意見がなければ次に進む。

#### （４）平成 30 年度「心のバリアフリー」職員研修について（報告）

事務局： （資料 5）について説明

会長： 職員研修の講師を務められた委員からご感想いただければと思う。

委員： 昨日 3 月 24 日はケガをしたその日で、毎年思い出す日である。ちょうど 20 年が経ち、車いす生活が障害の無かった人生期間を今日から越えるなと感じているところ。私自身、20 歳の時にケガをして突然障害を持つことになったが、同じように誰もがいつ障害を持つかわからないということは、この研修でも伝えた。今、事務局からあったように“障害は誰でもある”ということで、もともとの考え方は“医学モデル”からくるもので、個人の障害が原因であるという考え方から、“社会モデル”という考え方によって変わってきており、社会の障害をなくせば障害がなくなるという話もした。先日、新宿駅に行った際に、エレベーターを待っていたのは車椅子の私の他にもう一人の車椅子の方と、その他の方は皆ベビーカーの方々だった。研修の感想にもあるように、車いすで気軽に外出することができる社会は、全ての人にやさしい社会になるとあり、私もそう思う。出来る限り、そういった社会になってくれればいいと思っている。

あと、先ほどの高幡不動尊の話の中で、アジサイを見に行くのには途中までしか行けない、しかし途中まででも十分楽しめるだろうと話があった。ケガをしてから金閣寺にも行ったことがあるが、そこでも 1 周ぐるっとは周遊できない。やはり、自分だけ途中までしか行けないのは、寂しい。出来れば皆と同じコースを周りたいと感じる。アメリカの国立公園は、車椅子でどこまでも誰とでも一緒に行けるようになっている。そこまでやるからこそ、ユニバーサルデザインだと思う。これからも研修に関わらせていただきながら、多くの方にとって暮らしやすい日野市をつくるために協力してやっていきたいと思う。

会長： ありがとうございます。他にご意見、ご質問があれば伺う。

委員： 多種多様な障害を学ぶことはいいことだと思う。参加者をみると、選挙

管理委員会の職員の参加がない。投票所のバリアフリー化推進のために今後参加していただきたいと思う。

事務局： 研修内容は未定だが、来年度も職員研修を実施予定なので、選挙管理委員会にも参加依頼をし、確実に参加していただくように致します。

会長： 他に質問がないようなら、次に進む。

#### （５）市役所本庁舎のトイレ改修について（報告）

事務局： （資料６）について説明

会長： 意見・質問があれば受け付ける。

委員： トイレトペーパーの一つが手すりで使いにくそうに見えるが、何か理由があるのか。

事務局： 改修部署に確認したところ、限られたスペースに全ての設備を設置すると結果的にこうなってしまったということだった。大変使いづらいとは思っているので、管理者にご意見を伝える。今後の改修出来るタイミングがあれば、そのタイミングで使いやすい整備にするべきだと思うので管理者にもその点伝えたい。

委員： 地下にも車椅子利用者用トイレが整備されるようなので、そこには気を付けていただきたいと思う。

会長： 事務局よろしくお願いします。他にあれば受け付ける。

委員： ピクトサインの表示について、ＬＧＢＴへの配慮が社会でも課題になっていると思うが、紹介されたピクトの人のマークが青や赤色で表示されるのには違和感がある。色で区別するのではなく、同じ色にした方がいいと思う。

会長： 事務局お願いします。

事務局： より適切なサインになるように、また新しくできるものには検討していく。

会長： 他になければ、私から質問させていただく。

このトイレが改修されたことについて、市民の方への周知や広報はどのようにやられているか伺いたい。

事務局: 耐震工事を実施中ということを周知しているのみのはずで、ユニバーサルトイレ整備に関する周知はなされていないと思う。

会長: 市広報などで周知した方がいいのではないかと思います。  
それでは、審議事項であった平成 30 年度ユニバーサルデザイン推進功労者表彰の集計結果が出たので、事務局よりお願いします。

事務局: 事業内容貢献度 4.0、自発性 4.1、独自性 3.7、先進性 3.4、継続性 4.0、普及性 4.0、地域連携性 4.0 となった。全ての評価の平均が 3.88 点となり、平均点 3.0 点を超えたので、市長へ推薦の案件として推薦させていただきたいと思いますが、この結果についてご意見・ご質問があれば受け付ける。

ご意見がないようなので、市長へ推薦する。最終的に表彰となったかどうかについては、後日委員へ通知をする。なお、本件について、東京都の同様の制度へも推薦させていただきたいと思いますが、ご意見があれば受け付ける。

特にご意見がないようなので、東京都へ推薦する。

会長: 只今の内容に関して、再度ご意見・ご質問があれば受ける。  
ないようなので、事務局の説明のとおりで決定とする。次に進む。

#### 4. 今後の予定

事務局: (資料 7) について説明。

会長: 今の説明について意見・質問を受ける。

なければ全体を通して意見・質問を受ける。

特になければ、閉会とする。